



発行元：民主党プレス民主編集部

東京都千代田区永田町 1-11-1

TEL：03-3595-9988（代表）

連絡先：民主党静岡県参議院選挙区第3総支部

静岡県静岡市南町 10-6 村上駅南ビル 703

TEL：054-280-7604 FAX：054-285-7993

2005年2月号

号外



藤本祐司

どこでも魅力的な観光地になれます

1年前まで私がU F J総合研究所で地域振興、特に観光振興を専門としていたことから、県内を回ると多くの方々から地域振興策としての観光についてよく聞かれます。今年の正月も多くの方から聞かれました。そこで、今回は観光をテーマとします。

「自分たちの地域は観光地じゃないからこのテーマには関係がない」と思われる方がいらっしやと思いますが、実は観光に対する市場ニーズが変化したために、観光地ではなかった地域にも観光客が訪問するようになりました。バブル経済期の1980年代後半までは、温泉や名所旧跡、娯楽場所があることが観光地の最低条件でした。ところが、90年代に入り、徐々にその認識が変化してきました。例えば、昔ながらの町並みが保存されている地域、美味しく安全な野菜が採れる地域、何もなくてただ田園風景が続く地域、茶畑など静岡らしい景観が整っている地域なども立派な観光地です。有機栽培のゆずがあるだけの高知県馬路村に関西から大勢の人が訪れるようになった例など枚挙にいとまがないほどの類似事例があります。

今ちょうど開催されている東伊豆町稲取の「雛のつるし飾り」は、伝統的に受け継がれてきた慣習をオープンしたものです。平成5年からのイベントで知名度の高さは今や全国区です。雛人形ブームの火付け役でもあります。また、お隣の河津桜も本土で最も早く桜見ができる場所として人気です。

両方の共通点は、他の地域では真似ができないことです。稲取の「雛のつるし飾り」は昔ながらの伝統の上に成り立っているものであり、河津桜はその気候故のものです。つまり、その地域ならではの素材であることが、観光客に評価されたのです。



つまり、観光振興の本質は、その地域の本当の個性や魅力は何かを明確にすることから始まります。温泉が売り物であれば、その温泉を活用したプログラムを考え、健康づくりと文化的欲求を満たす町を標榜するなどの目標が有効です。むしろ、必然性のない要素・資源を無理矢理作って集客を図ろうとした場合、その要素・資源が魅力的であればあるほど、他の地域が真似をしたくなり、より質の高い資源を後から作ります。そうすると、最初に作ったところは時間の経過とともに競争力を失ってしまう危険にさらされます。

今、カジノで再生を図ろうとしている温泉地があります。私はカジノ振興には総論賛成です。しかし、各論となると話は別です。その地域の本来の魅力を活かさずに安易にカジノに走ると、必ずしばらく経つと競争力が低下し、町が崩壊します。本来の魅力を活かして他では真似ができない観光地を作ることができなければ、いくらカジノを誘致してもその競争力は数年しか持続しないでしょう。カジノを誘致する場合は、その前にその地域の魅力を高める策を講じることが大切です。重要なことは、まずは自分たちの町の魅力は何かを客観的に判断することであり、地域の伝統・文化・歴史こそが観光客のニーズを掴むことにつながるということを認識することです。

第 162 回国会の展望

1月21日より今年の通常国会が開会しました。通常国会の会期は150日なので、今年は6月19日までです。私は、昨年の臨時国会の時と同じく総務委員会、沖縄及び北方問題に関する特別委員会、議院運営委員会の委員として今国会に臨みます。

今国会はまず、平成16年度の補正予算と平成17年度予算の議論から始まりました。補正予算は新潟県中越地震等の災害対策費約1兆3600億円を含みます。その後、様々な課題に議論が移っていくわけですが、今年も課題が山積しています。

昨年の臨時国会では自民党の相変わらず不透明なお金の流れが取り上げられましたが、抜本的な対策を講じず、誰も責任をとらずにうやむやになろうとしています。「政治とカネ」の問題の追及が引き続き行われます。年金の議論も終わっていません。政府・与党は負担を上げて給付を下げるその場しのぎの制度改正を改革と偽り、強引に年金法案を可決しました。これからますます少子高齢化が本格化する日本において、真に必要な年金改革は、民主党が主張する年金制度の一元化と保険料の一部への消費税の導入です。この実現を引き続き目指します。

また、私が直接関わる案件として、議員立法として提出する予定の情報公開法の改正案があります。情報公開法が施行されてから約4年が経ち、様々な問題が生じています。官僚はとかく秘密主義です。情報を簡単には出しません。出すとしても相当の時間を要します。官僚が独占する情報を広く国民が共有できるようにするため、情報公開法の改善を目指します。

小泉首相は郵政改革をどうしてもやりたいようですが、上に述べた年金制度などの社会保障制度の方が国民の関心ははるかに高いのです。日本にとっての優先順位を見失わず、何がいま大事なのか、何が国民益になるのかを常に考えながら、今年の国会に臨んでまいります。



国会議事堂と道路を挟んだ裏にある議員会館は地下通路で結ばれています

その地下通路にて県の木「もくせい」の写真をバックに

座談会開催のお願い

国会での活動を皆さんにお伝えし、また、皆さんの声を直接お聞きするための場を設けたいと思っております。より政治を身近に感じて頂くために、皆さんがざっくばらんに意見交換でき、お互いの顔が見える規模でひざを突き合わせて意見交換をしたいと思っております。人数、規模は問いません。

なお国会会期中は、金曜の夕方か土日祝日になってしまいます。右記事務所までお気軽にお声掛けください

街頭演説 随時開催中

国会会期中は基本的に月曜日の朝、静岡、沼津、三島駅などで実施しております。出勤途中の忙しい時間帯とは思いますが、耳を傾けてみてください。民主号外も配布します。

・なお、天候その他の理由により中止させていただく場合があります。詳しくは事務所までお問い合わせください。

《静岡事務所》 〒422-8067

静岡市南町10-6 村上駅南ビル703

TEL 054-280-7604 FAX 054-285-7993

《東京事務所》 〒100-8962

東京都千代田区永田町2-1-1 参議院会館508号

TEL 03-3508-8508 FAX 03-5512-2508